

■ 目次

■ 令和4年第2回定例会【6月】

提出議案・人事案 2

主な質疑 3～4

■ 一般質問 5～ 9

■ 議会トピックス 10

■ 100号記念特集 11～15

■ 議会だよりギャラリー 16



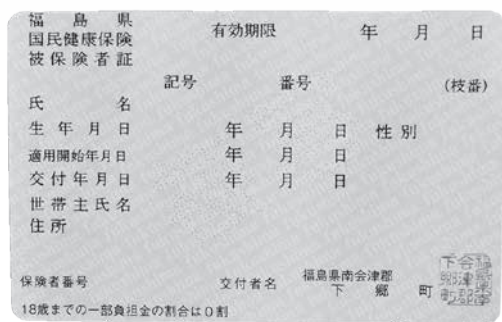
3年ぶりに開催された大内宿「半夏祭り」

江川小学校の児童も参加し、晴天のもと明るい声が響きわたりました。

下郷町国民健康保険税条例の 一部を改正する条例の設定

地方税法施行規則の改正に伴い、国民健康保険税の「基礎課税額」及び「後期高齢者医療支援金等課税額」の課税上限を引き上げる条例改正。

内容は、基礎課税額は63万円から65万円に、後期高齢者医療支援金等課税額は、19万円から20万円に引き上げる内容。令和4年度以後の国民健康保険税から適用される。



議員 この結果、歳入はどのくらい増えるのか。

万円となる。

課長 議員のご指摘の通り、限度額の合計は102

上がる理解でいいか。

議員 今までの上限99万円から102万円に3万円

主な議案審議内容

通しを教えてください。

議員 国保の保険料は、県内で統一する方向で検討されていると思うが現在の見

する作業を行っている。

課長 歳入は、前年度の所得により確定するもので、現在、前年の所得の確定

課長 県では、令和11年度をめどに検討中である。

※「基礎課税額」とは、医療保険分に相当する額で、「後期高齢者医療支援金等課税額」とは、後期高齢者医療制度に対する支援金。

他に「介護納付金課税額」があり、介護保険に相当する課税。

このそれぞれの課税額は、前年の所得に応じた「所得割額」、1人につき課税される「均等割額」、1世帯につき課税される「平等割額」で計算されている。

消防ポンプ積載車購入契約

第一分団張平班の消防ポンプ積載車が、30年を経過したことから更新を行うための内容。契約内容は次のとおり。

- 車種 トヨタダイナ4WD
- 契約金額 1,232万円
- 契約相手 福島県会津若松市桧町2番41号 会津消防用品株式会社



課長 今回契約の積載車は、オートマ車となる。

議員 契約の積載車は、オートマ車か。それともマニュアル車か。

課長 落札した、会津消防用品株式会社への2社、計3社で入札を行った。

議員 入札は何社で行われたのか。



6月 定例会

6月定例会は8日から15日までの8日間の会期で開かれました。今定例会では、令和3年度からの繰越についての報告がなされました。また、監査委員の選任、農業委員会の報酬に関する条例の改正や令和4年度補正予算などの町提出議案13件が審議され、全て可決となりました。さらに、意見書の提出に関する議員提出議案1件についても可決されました。

報告

- ・令和3年度下郷町一般会計の繰越明許費

専決処分の承認

- ・下郷町税条例等の一部を改正する条例の設定
- ・下郷町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の設定（3ページ）
- ・令和3年度下郷町一般会計補正予算（4ページ）
- ・令和3年度下郷町国民健康保険特別会計補正予算
- ・令和4年度下郷町一般会計補正予算

議決(3ページ)

- ・消防ポンプ積載車購入契約（3ページ）

議員提出議案

- ・地方財政の充実・強化を求める意見書提出

人事案件

- ・監査委員の選任

条例改正

- ・新型コロナウイルス感染症による国民健康保険税等の減免の特例に関する条例の一部を改正する条例の設定
- ・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の設定（4ページ）

予算

- ・令和4年度下郷町一般会計補正予算
- ・令和4年度下郷町国民健康保険特別会計補正予算
- ・令和4年度下郷町後期高齢者医療特別会計補正予算
- ・令和4年度下郷町介護保険特別会計補正予算

人事案件

◎監査委員の選任

再任

渡部 正晴氏（倉村）の再任に同意

同氏は平成18年7月1日から4期・16年にわたり監査委員を務められ、専門的知識を有していることから選任に同意した。

請願陳情

◆地方財政の充実・強化を求める意見書提出を求める陳情

陳情者

下郷町大字豊成字林中6090番地

児山 正己氏 他1名

▽審査結果

採択

▽意見書提出の議決

内閣総理大臣、総務大臣の他関係大臣への意見書提出を議決した。

一般質問

4 議員が

町政を問う

6月定例会では、4人の議員が7件の一般質問を6月13日に行い、活発な議論を展開しました。6ページより、質問した順に代表する質問の質疑応答を要約してお知らせします。

星 輝夫（6ページ）

- 大内宿入口（大道通）交差点改良について
- 町民体育館と江川分館の渡り廊下及び町内の学童施設について
- シルバー人材センターについて

小椋 淑孝（7ページ）

- 観光について

星 和志（8ページ）

- 少子高齢化と定住促進について

玉川 邦夫（9ページ）

- 空き家利活用の新たな取り組み
- 積極的な情報発信による協働の町づくり



“一般質問”は、議員が町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等を聞き、町長などに所信や疑問をたずねることで、報告や説明を求めることです。

令和3年度 下郷町一般会計補正予算

令和3年度の歳入・歳出について、事業費等が確定したことなどにより予算を整理するための補正。主な事業として、そば農家への支援金、稲作農家への支援金、各家庭へ商品券の配布、町内での食事・宿泊等にかかった費用の一部を助成するなど、国から交付される新型コロナウイルス関連の臨時交付金を活用した事業で、額の確定により予算の補正が行われた。

臨時交付金を活用した全11事業の決算額、約1億3446万円のうち、1億1664万8千円が国の臨時交付金でまかなわれた。



コロナウイルス関連の臨時交付金を活用した観光公社の事業

課長

大きな要因として、電気柵、ワイヤーメッシュ

議員

下郷町鳥獣被害対策協議会への補助金が、912万3千円減額になっているが主な理由は、

※森林環境譲与税とは、森林の整備や林業にかかわる人材育成、木材利用の普及啓発活動などに活用できる国からの財源。その目的のために必要な資金を基金として積み立てている。

課長

令和2年度末時点で約1930万1千円の残高となっている。今回計上した201万5千円が追加となり、約2131万6千円となる。

議員

森林環境譲与税基金の積立て額を増額しているが、基金の積立額はどのくらいになっているのか。



課長

そば農家支援金の減額については、そばの流通の確認がしづらいことから、多めに予算計上していた。今後、農家支援策を行う場合、議員ご指摘の内容を反映できるように内容で対応していきたいと考える。

議員

そば農家の生産販売支援金が、約164万円減額になっているが理由は、また31袋以上の出荷者に制限しての支援金だったが、生産意欲が無くならないような、そば農家支援が必要と思うが。

ユ柵を、全部まとめて協議会で入札を行った結果、約650万円が減額となった。また、捕獲報奨金が当初の予定255頭に対して、70頭減ったことから126万円が減額となった。

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の設定

農業委員会の報酬を、現在の年報酬額を基本額とし、新たに能率額を追加する改正。農業委員、農地利用最適化推進委員の活動を、必要日数以上行つた事を義務化する制度改正があり、活動に見合った上乗せが必要となったことから、能率額として上乗せ報酬を支給できるようにする内容。能率額は、国からの交付金が財源となり、活動実績に応じて変動する内容となる。



小椋 淑孝 議員
hidetaka ogura

問 国内では、コロナ禍で厳しく制限されていた行動を余儀なくされていましたが、今年のゴールデンウィークからは制限なしで移動することが可能となり、コロナ感染拡大も若干影響しましたが、現在は減少傾向に向いていると国の発表もあった。当町にとっても観光客が戻りつつあり、小野岳の山開きや百年ウオークと、昨年度まで中止していたイベントも開催されて、活気が出始めた

と思う。しかしながら、以前のような大型バスを使用している観光ツアーはまだ少なく、自家用車を利用しているのが現状である。そこで自家用車を利用して出かけることが多くなり、キャンピングカーを利用する人が増えている。密をさけて自分たちで場所を借りて過ごすRVパークが人気で、利用者が年々増加している。時代のニーズにあったものを造る事も、観光客

答 三密避け自家用車で出かける人には魅力的な施設であり、コロナ禍での時代のニーズにあったものであると考えます。今後、会津縦貫南道路の開通により、新たな観光需要の高まりに合わせ、町の施設などに設置可能かどうか、検討していきたい。RVパークの定義として、4m×7m程度の駐車スペース、1週間程度の滞在が可能、24時間利用可能なトイレ、100V電源が使用可能、入浴施設が施設内又は15km圏内にある、ごみ処理が可能、入退場制限が緩やかで予約が必須ではないこと、RVパークの看板を設置することとあるが、実施可能かどうか検討していく。

▶猪苗代道の駅にあるRVパーク



◀駐車スペースには専用の電源があれば検討する。

問 近隣市町村で、猪苗代町の道の駅や南会津町の道の駅に、利用促進として作られている。物産館に出来るので利用してもらえ。観光の拠点として滞在する場所があれば、食堂など利用してもらえらると思いがいかか。

答 RVパークの設置については、私も関心がある。観光公社の事務局長と、町の施設においてもキャンピングカーを利用出来るように検討してくれないかと話をした経緯もある。左走の養鱒センターですと、釣り堀の下に昔キャンピング場があったし、スムーズにできる場所があれば検討する。



星 輝夫 議員
teruo hoshi

質問 大内宿入口(大道通)交差点改良について

答 弁 協力すべきことは協力し 県に対し要望していく

問 平成27年から令和3年まで、県道改良工事について協議を行ってきた。令和3年8月25日には、現地で境界立会い確認を行った。その後物件調査に入ると説明があったが、いつ頃になるのか。町では、県と日程の協議を重ねているのか伺う。

答 南会津建設事務所からの情報では、令和3年度に用地測量業務委託が発注され、境界立会いを実施し、

問 令和4年度の予算に渡り廊下の解体予算が計上されたが、この工事の完了はいつ頃か。また、工事後江川分館は有事の際の避難所としての役割を果たせるようになるのか。

答 令和4年度当初予算では、公民館渡り廊下等解体設計業務委託料を計上しているが、解体工事については設計額が確定次第、財源を確保し工事を進める予定。公民館の避難所としての役割については、耐震化の機能が確保されており、和室等もあることから避難所として使用することが可能である。しかし、隣接する町民体育館が耐震基準に適合していないため、地震の影響により使用できないおそれがあることか

質問 町民体育館と江川分館の渡り廊下及び町内の学童施設について

答 弁 公民館は一時避難所としての使用を考えている

ら、一時避難所としての使用を考えている。

問 町内の学童施設は、児童が安心、安全に過ごせるよう、老朽化設備の更

新、安全対策の見直し等を行っているのか。

答 対策として、設備や遊具などの安全点検を毎年定期的に実施し、適切な教育施設の維持管理に努めながら改修工事や更新工事を行っている。また、細かな部分の修繕にいても可能な限り迅速に対応し、子供たちのよりよい学習環境づくりに努める。

質問 シルバー人材センターについて

答 弁 慎重に検討したい

問 近年退職年齢が引き上げられるなど、高齢者の働き方改革も進められている。本町でも、元気で活力のある高齢者が、輝く老後をつくるためシルバー人材センター等の設置を検討し、草刈りや清掃等の業務を行っていたい

答 以前は下郷町でもシルバー人材センターが活動していたが、再度組織づくりをする場合、登録者の確保、作業の需要、運営する職員の確保や費用などの課題がある。しかし高齢者の方へ就労の場の提供としては有効な施策なので、慎重に検討したい。



玉川 邦夫 議員
kunio tamakawa



星 和志 議員
kazushi hoshi

質問 少子高齢化と定住促進について

答弁 「やる気のある人や企業、事業に支援すること」は必要であり検討する

問 現在、どこの町村でも少子高齢化と移住・定住が重大な課題となっていて。慣例的な手法やお金を配るだけの手法では事は何も進まず衰退する一方になり現在本町もその状態にある。やる気のある人や企業、事業にお金を支援していくこれが本来の姿であり活気を創っていく事になる。町長のまちづくりの展望・ストーリーをお聞かせください。

答 行政の一方的な住民サービス提供では地域の活性化させることは難しく行政と住民の協働により少子高齢化や移住定住促進を推進しなければならぬと考えている。やる気のある人や企業に支援をするのは大事だが、現在、新型コロナウイルスの影響は大きい。住民の生活を支える事が最優先に支援を行っているところだ。企業への支援に関しては商工会と町が連携し支援の相談を受け付けている。

いる。町民主体のまちづくりとしては行政区の伝統行事や独自のイベントに支援をしているところである。

問 施策が効果検証をされてないので毎年変わらないうえに既得権益から脱却し毎年度見直しを計っていたきたい。このような対応は急には難しいので企業版ふるさと納税や県の支援プログラムを活用できれば予算もあまり使わず行えると思う。他議員も提言したシルバー人材やRVパークも行政や下郷住民からだけではなく、できる人材を採用すれば成功率は上がる。現在専門員や外部人材の活用・公募は行っているのか。

答 第六次総合計画が5年間であるのでその中で達成していくものである。毎年重点事業を提案しているのでも予算上、施策等展開できている。シルバー人材やRVパークは行政が介入したほうが

良いと考える。事務的人材が見つけられず経営難になる。民間企業を活用すれば争い・問題の元になる。事業に関しては、町の事は町でやらなければ入札行為になってしまう。オープン参加も必要だが、下郷町には今までのやり方がある。

問 総合計画が5年間で決まっていますが見直し検証は行えないのか。事務方の人材がいけないという問題も町外から経営のプロを公募すればそういった問題もなくなっていくこれらはすべての問題に精通する。行政側だけの施策立案だけでは物足りない部分も出てくるので町民や企業との対話で起こる施策創生予算を立てていただきたい。

答 施策の見直しは十分可能である。民間登用の公募であるが入札参加している会社の中での企画で落ち着いてしまう。公募となれば条例や要綱を変えなければなら

なり町民に理解が得られない。行政施策については総合計画で議員や町民にも入っていただいているがそういった声も反映すべく内容を充実していく。

※2 県の支援プログラム
市町村で解決することが効率的ではない専門分野や高度な技術を要する分野で支援を行う。(一部抜粋)

※1 企業版ふるさと納税(人材派遣型)
企業版ふるさと納税の仕組みを活用して、専門的知識・ノウハウを有する企業の人材の地方公共団体等への派遣を促進することを通じて、地方創生のより一層の充実・強化を図る。

質問 古民家再生協会との締結で何が変わるか

答弁 民間の活力により、古民家等対策の活性化に貢献

問 「空き家利活用事業」は県内でも本町はそれほど進んでいる状況にはないが、今回の協定締結は、画期的である。どんな経緯を経て締結に至ったのか。

問 「自分の家は古民家^{※1}に該当するのか」といった町民の関心が必要になってくる。現在該当される古民家のデータはあるのか。また、意識を高めるための説明会等の計画はあるのか。

き家対策等は町の重要課題であることから、専門性を有する同協会との締結に至った。

※1 古民家とは
伝統的工法で建築された「築50年以上」の建築物が対象になる。

答 古民家に該当するデータは現段階でゼロ。住民への周知を図るためセミナー・相談会・空き家バンクとの連携を計画していく。また、この事業を通して、空き家を食い止めるための古民家修復や町内の建築業者によるアドバイザー協議会の設立も検討している。

答 再生協会では以前、野岩会津鉄道区間での空き家・古民家を活用した地域支援事業を展開してきた。さらには、「ふるさと再生DMC構想」で沿線市町村と学習会をしてきた経緯もある。空

問 コンサルティング料等で年間どの程度の予算を伴うのか。さらに、締結による、補助金等を盛込んだ法の整備は行われるのか。

答 現在予算措置はない。具体的に対象事業に認定されれば予算も発生するだろうし、町の補助事業としての要綱設置の検討も出てくるだろう。

質問 町長自ら町民へ積極的な情報発信を

答弁 ホームページ等の情報の整備と地区での座談会を検討

問 「町長の部屋」は、開かれない情報発信コーナー。就任や新年度の挨拶だけでは寂しい。農業、観光、商工業での町民の頑張りの、発信してほしい。また、自らの特技・趣味等をユーモア交えて語ることも、町民との心の距離を近くしてくれる。

答 ホームページ、町広報、SNS等でより新鮮な情報を発信している。今年度はラインアップの整備を行い、町に関心を持つような情報発信に努める。また、町民と直接語り合う座談会の実施を検討している。



創刊(平成9年)から25年 下郷町議会だよりは100号を迎えました



下郷町議会議長
小玉 智和

平成9年12月に創刊号を発行し、今号で一〇〇号を迎えることとなりました。これもひとえに、議員諸先輩方、歴代広報委員の一方ならぬお力添えによるものと深く感謝申し上げます。

議会は、町民の代表として付託に応え、真にあるべき二元代表制の姿に捉え直し、議決機関として担う役割を明確化するとともに、町民の皆様にわかりやすい議会でなければなりません。

その一つとして議会広報は、町民の皆さんに議会情報をお知らせする重要な役割を担っております。

一〇〇号を通過点とし、今後わかりやすい議会情報をお知らせできるよう研鑽を重ねてまいりますので、町民の皆様、益々のご支援とご協力をお願い申し上げます。第一〇〇号発刊にあたってのご挨拶といたします。

6月30日

福島県町村議会
議会広報研修会

「広報誌の広報力を高めるために」
よりわかりやすい広報誌づくりを

令和4年6月30日に、町村議会広報研修会が開催されました。下郷町議会広報常任委員会からも6名が参加し研修を受けました。

グラフィックデザイナーの長岡光弘氏から広報誌の広報力を高めるために、住民の方々に伝わる工夫や、公聴やメディア（広報誌やホームページ等）を活用する方法について講話がありました。



講師の長岡光弘氏



また、議会だよりを講師の方が診断していく、広報クリニックも行われました。ほかの町村の広報誌のいい部分、修正が必要な部分の診断・解説が行われました。今後の、紙面づくりに活かしていきたいと思います。

～議会だよりと議会のこれまでの歩み～

【平成20年】 下郷町議会議員選挙 議長 星 正 延 (議員定数12人)	【平成18年】 議長改選 議長 星 嘉 明 (議員定数16人)	【平成16年】 下郷町議会議員選挙 議長 星 嘉 明 (議員定数16人)	【平成14年】 議長改選 議長 和田山 美喜夫 (議員定数16人)	【平成13年】 議会広報特別委員会 に改正 議長 室 井 亜 男 (議員定数16人)	【平成12年】 下郷町議会議員選挙 議長 室 井 亜 男 (議員定数16人)	【平成9年】 新役場庁舎オープン 下郷町議会だより創刊 議会広報編集委員会設置 議長 渡 部 盛 美 (議員定数18人)	議長 山 田 武 (議員定数12人)
【令和2年】 下郷町議会議員選挙 議長 小玉 智和 (議員定数12人)	【平成30年】 議長改選 議長 佐 藤 盛 雄 (議員定数12人)	【平成28年】 下郷町議会議員選挙 議長 佐 藤 勤 (議員定数12人)	【平成26年】 議長改選 議長 佐 藤 一 美 (議員定数12人)	【平成24年】 下郷町議会議員選挙 議長 佐 藤 孔 一 (議員定数12人)	【平成22年】 議長改選 議長 星 政 征 (議員定数12人)	議長 山 田 武 (議員定数12人)	

南会津郡の議員が 一堂に会し郡内の課題に についての要望を採択

只見町の「季の郷 湯ら里」で第73回南会津地方町村議会議員大会が開催されました。

議員大会では、郡内4町村の議会から課題に対する要望事項10件が提案され、下郷町からは、星 能哲 議員が2件を提案しました。

10件すべてが可決され、今後、県等に要望活動が行なわれます。

7月5日
南会津地方
町村議会議員大会



下郷町議会提出要望

- 「第三セクター会津鉄道・野岩鉄道並びに生活バス路線への支援措置について」
- 「地域高規格道路「会津縦貫南道路」の整備促進について」

祝100号 「読者の声」を議会 だよりに ～これからの議会広報～

～質問(取材)項目は～

- ① 議会だよりを読まれたことはありますか。
- ② 議会だよりは読みやすい紙面になっていますか。
- ③ 毎回どの記事を読まれますか。
- ④ 議会活動で知りたい内容がありますか。
- ⑤ 魅力的な議会だよりを発行するための要望事項をお聞かせください。

100号の記念特集として、「読者の声」を取材しました。

これまでは、表紙や裏表紙（議会だよりギャラリー）を活用し、町民の皆さんの様子や地区の行事などをお伝えしてきました。今後は読者の皆さんの意見、町民の声を活かし議会だよりをより良いものとしていきたいと考えています。

今後は、町民の皆様・読者が参加する議会だよりになるようにしていきたいと思っています。

- ①・②…ここ数年前から読むようになりました。知っている人が議員になっていることから、議会を身近に感じるようになったからかもしれません。また、写真や文字が大きく、バランスも良いため、読みやすくなったことも大きな要因でしょう。
- ③……議員が町政を問う一般質問コーナーと議会だよりギャラリーは常に楽しく目を通しています。
- ⑤……これからも見やすい紙面づくりと、議員目線での様々な町の情報を知らせてほしいと思います。



60代男性
(塩生)

- ①・②…議員さんが作っているそうで、大変だと思いながら毎回読んでいます。専門的な用語が多く出てきて町民にとって少々難しいと思うことがあります。
- ③……一般質問での各議員さんの「政策提言」を楽しく読んでいます。
- ④……予算案をもっと具体的項目で、「今年は何処に力を入れたのか」をわかりやすく説明してほしいです。過去に行っていた、議員と住民との座談会を開催し、議会だよりで報告するのもいいと思います。
- ⑤……他の町と比較しても、我が町の議会だよりは引けを取っていません。これからも町民へ話題提供してください。



阿久津 有信さん
(十文字)



星 恒行さん
(榑原)

- ①・②…ほぼ毎回目を通しています。以前よりは読みやすくなっていますが、専門用語が多く理解に苦しむことがあります。
- ③……一般質問に重点を置いています。それぞれの議員がそれぞれの立場や考え方に基づいた質問には感心させられます。
- ④……私が20代前半の頃には人口が1万5千人位いたが、それが広報しもごう6月号では5,215人。特に少子化が大心配。抜本的な少子化対策をお願いしたい。
- ⑤……なるべく専門用語はさけてほしい。どうしてもというときは注釈をつけていただきたい。



60代女性
(湯野上)

- ①……読んでいます。
- ②……なっていると思います。
- ③……議案審議のページに興味があります。どんな話題があり、どんな質問・答弁なのか興味を持ちます。
- ④……町民から出される要望など、議会でどのように話されているのか知りたいです。

- ①……ある。
- ②……なっている。
- ③……質疑応答
- ④……議会以後、議員の方々の質疑がどのように町政に反映されているのかが誌面からは知ることは難しく、その点を知りたいと思います。
- ⑤……議会の活動自体に、若い世代が中々興味、共感を持っていないのが実情だと思います。他市町村での取組み等の先行事例を沢山取り上げ、若い世代がこの町に希望を抱けるようなビジョンを紹介し、それに対する若い世代の意見を吸い上げ、町政に反映してもらえるようなツール、機会を設けて欲しいと思います。そういうコーナーが議会だよりがあれば、より多くの世代に読んでいただくことが出来るのではないのでしょうか。



40代男性
(湯野上)

- ①……配布時には一通り目を通します
- ②……写真も随所にあり、わかりやすく読みやすいです
- ③……「一般質問」の記事を中心に読んでいます。どうしても自分の地区の問題を中心に読んでしまっていますが、ほかの地区や下郷町の課題なども知ることができ参考になります。ただ、誌面の都合もあると思いますが、要約されすぎているところもあります。その点を工夫していただければと思います。
- ④……議員の選挙時の公約が具体的にどう議会活動で実現しているのか。
- ⑤……若い世代（特に小・中学生、高校生）にも読んでもらうには、難しい漢字など（人名も含む）に、ルビをつけてはいかがでしょうか。子どもが読めば親子間でも会話になります。子どもの視点から大人が気付かされることがあるかもしれません。某小学校では議会も傍聴しています。「三つ子の魂百まで」…幼い時の体験は、成人になってからも生きるはず。



湯田 恒弥さん
(湯原)



児山 正己さん
(刈林)

- ①・②……毎回読んでいます。99号は読みやすかったです。時々、一般質問と回答のところで段落がわからない時があります。
- ③……一応すべてに目を通しています。特に興味を持って読んでいるのは「一般質問」です。議員さんが何に取り組んでいるのかわかります。
- ④……各委員会の内容なども載せていただけると、もっと町政が見える。
- ⑤……議会としても、ホームページ等を利用して、幅広く下郷の魅力など発信してはどうか。以前に「子ども議会」が開催されたと記憶していますが、「女性議会」、「老人議会」等を開催し幅広い年齢層の意見を聞いてはどうか。



60代男性
(檜原)

- ①……読みます、が、ざっと目を通す程度。
- ②……どちらとも言えません。
- ③……一般質問のページ
欲を言えば、もう少し臨場感を伝えていただきたい。一問一答の形式で書かれますが、その中にはやり取りがあると想定します。
議事録形式で記載していただければありがたい。
- ④……議員各位及び各委員が取り組んでいる内容、その進捗など記載されたい。
- ⑤……④と同様ですが、個々案件に対するスケジューリング、それに対する進捗状況を毎号記載があればと考えます。

- ①……毎号読んでいます。
- ②……できるだけわかり易い表現にしてほしい。また活字を大きくしてほしい。
- ③……一般質問や予算関係の記事を特に読んでいます。
- ④……質問した内容が、その時の質疑応答だけで終わらず、実行されているのを知りたいと思います。
- ⑤……全町民が望んでいることをできるだけ町政に反映させる議会活動を切に望みます。



60代女性
(成姫)

議会だよりギャラリー

議会とまちのうごきを
写真でレポート

過去と未来をつなぐ架け橋！



湯野上橋（昭和59年12月完成）



常に安全点検を
欠かせない生活の架け橋



大規模な塗装工事（足場で覆われた町道の大橋）

町内には約150カ所以上に橋がかけられている。下郷町の厳しい地形からすれば、橋は私たちの生活を支えてくれる極めて重要な公共物である。

安全・安心かつスピーディーに人々はもとより物資を運んでくれる。

それだけではなく、歴史・文化そしてかけがえない町の未来への夢を運び、町発展に貢献してくれる頼もしい橋でもある。



下郷大橋

国道118号バイパス工事

議会を傍聴しませんか

町議会定例会は3月・6月・9月・12月に開かれます。
お問い合わせは町議会事務局（69-1123）まで

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報常任委員会
星	星	星	小	玉	山名田	
			椋	川	久美子	
和	昌	能	淑	邦		
志	彦	哲	孝	夫		

議会だよりも100号（年4回発行）を迎え、25年間の議会の歴史を垣間見ることが出来ます。▼昔も今も議会だよりのねらいは「議会の様子を知って、関心を持ってほしい。」「町民と協働での町づくりを進めていきたい。」に尽きる気がします。▼平成9年12月の創刊号の編集後記には「分かっていく議会を分かってもらおう議会にすべく努力した。」と、手作業時代の苦勞を語っています。▼この先輩方から託された編集への思いを、しっかり引き継いで参りたいと思っています。（玉川 邦夫）

編集後記